平成２５年１月１日

尊光寺御門徒各位

真宗大谷派　法龍山　尊光寺

住職　児玉　俊雄

**尊光寺須弥壇収骨お取り扱いについて**

真宗門徒は、親鸞聖人の御廟がある京都の大谷祖廟（東大谷）または、東本願寺に納骨をするのが本来です。しかし遠方でもあり中々参拝も適わない方々のために、当山尊光寺にてもお取り扱いさせて頂くことと致しました。

下記のお取り扱いの内容をご参照頂き予めご理解賜りますようお願い申し上げます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合掌

記

１　基本的には尊光寺の門徒の方に限るものとします。

２　収骨場所は本尊阿弥陀如来の下の須弥壇内へお納め致します。

３　お骨箱は当地区で一般に用いられている８cmｘ９cmｘ１５cmを用いるものとします。それ以外のお骨箱の場合は予めご相談下さい。

４　お納めする場所の大きさは全体で上記の箱を１体として１２６体分です。従いまして収納が一杯となった場合は、将来本堂南側に設ける予定の供養塔（総墓）に移骨して合祀し、土に還るように致します。

５　収骨にあたっては、次のご懇志の賞典（御礼）としてお取り扱いさせて頂きます。

　　　一体　永代経志５万円以上、及び収骨志５万円以上

６　収骨後は、毎年春・秋に勤まる永代経法要のご案内をさせて頂きます。

７　収骨されたご遺骨はお返しすることができません。

以上